



1

町民文化祭

11月17日(土)、18日(日)、第37回鶴田町町民文化祭が、公民館や体育センターなどを会場に開催され、作品展示や芸能発表、フリーマーケットなどが行われました。そのほか、軽食を楽しむことができるフードコーナーも開設され、家族連れなど訪れた多くの町民が楽しんでいました。



2



3



4



5



6

- ①開会式では、認定こども園はやせの園児がかわいらしい演奏を披露
- ②、③各小学校の地域活動報告会では、富士見小学校は獅子舞を、梅沢小学校は太鼓の演奏を披露。富士見小では、獅子舞披露後、5、6年生の子どもたちが学校で育てた「獅子米」を販売しました。
- ④鶴田書道会による書道パフォーマンス。大きな紙に子どもたちが思いの字を書き上げていきました。
- ⑤菖蒲川小学校の6年生が心を込めて育てたリンゴで作ったジュースなどを販売。
- ⑥会場ではつりんのスタンプラリーも開催され、スタンプを見つけると子どもたちは嬉しそうに駆け寄っていました。
- ⑦「ワールド・イン・つるた」のコーナーでは、町の国際交流員と子どもたちが楽しくクラフトづくり。
- ⑧三味線教室の生徒たちが演奏。大勢の観客に緊張しながらも、練習の成果を披露、観客は手拍子をしながら演奏を楽しんでいました。
- ⑨文化協会芸能発表会では、文化協会に加入している団体がさまざまな芸能を披露していました。



7



8



9

保健・医療・福祉祭 いのちのまつり

11月17日（土）、18日（日）、保健・医療・福祉祭「いのちのまつり」が鶴遊館で開催されました。減塩についての体験コーナーや絵本の読み聞かせ、鶴田産米粉を使用したすいとん入りつるりん鍋など、多くの催しが用意され、訪れた人は、楽しく、美味しく健康について学んでいました。



1



2



3



4



5

- ①つるた調剤薬局「健康お薬相談会」の薬剤師体験は子どもたちに人気のコーナー。粉末薬に見立てたココアの量を計測。
- ②青森県がん生活習慣病対策課の皆さんが、糖尿病予防の寸劇を披露し、予防について分かりやすく伝えていました。
- ③鶴遊館で行われたつるりん体操。多くの方が参加し、つるりんと楽しく体操をしました。
- ④鶴花塾が製作した、花で作った看板。いのちのまつりを訪れた人々の目を楽しませていました。
- ⑤みどりの会が鶴遊館の駐車場で、会員が生産した贈答用のリングや野菜を販売。安くて美味しい野菜に、訪れた人は喜んでいました。
- ⑥鶴田町産米粉を使用し、減塩だけどう美味たっぷり、野菜たっぷりのつるりん鍋（千人鍋）が、3年ぶりに提供されました。子どもからお年寄りまで、多くの方がつるりん鍋を味わいました。食べた方は、「減塩してますが味はしっかりしていて、野菜もたくさん入っているので満足です」と笑顔で話していました。

つるりん鍋の発案者であり生活改善グループ連絡協議会会長でもある、小野寺のり子さんにお話を聞いてきました。

つるりん鍋の発案者



生活改善グループ連絡協議会会長

小野寺 のり子さん

つるりん鍋は、レシピを見れば誰でも作れるということを心がけて作りました。また、具材の野菜も、細かく刻んで入れているため、他の具材を入れても邪魔をすることもなく、皆さんがアレンジできるようにしています。

3年前のつるりん鍋の提供の時は、経験不足なのもあって大変なことが多かったですが、今回は、前回の反省を活かして手際よく、より美味しく提供できました。

次回、またつるりん鍋を提供できる機会があれば、今回の反省点を活かして、より美味しいつるりん鍋を提供したいです。



6